

2013年3月吉日

JARIP 会員各位

日本保険・年金リスク学会
研究会担当理事
伊藤・河野・原田・福田

JARIP 2012 年度第 2 回研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本保険・年金リスク学会（JARIP）では会員の研鑽のため、重要なテーマについてより深く研究討議を行う研究会を実施しております。2012 年度第 2 回研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

今回は、清水信広氏（厚生労働省年金局）より、「**職域年金のリスク分担メカニズムと積立基準**」のテーマでご講演をいただきます。

ご講演の後の質疑応答や意見交換を通じてさらに理解を深めていきたいと考えております。会員各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 第 2 回研究会

日時：2013 年 3 月 22 日（金曜日） 14 時から 17 時

場所：東京海上日動ビル 新館 15 階 大会議室

〔住所〕東京都 千代田区 丸の内 1-2-1

講師：清水信広（しみずのぶひろ）氏

厚生労働省年金局 主席年金数理官

（講師略歴をご参照ください）

講演題目：職域年金のリスク分担メカニズムと積立基準

講演概要：

本講演では、まず第 1 に、過去に投資機会を拡大することによって、リスクを高めることなく給付の期待値を高められることなど、職域年金におけるリスク分担の価値を考察する。そして第 2 に、その価値を実現する観点から「柔構造の DB 制度」を提案し、その特徴的なメリットを考察したい。一方、職域年金のリスク分担の観点からは、給付設計と並んで積立基準が重要となる。このため第 3 に、EU の職域年金指令の見直し提案の眼目であるホリスティック・バランスシート（HBS）アプローチの基本構及び QIS1 で示された技術細目を参照しながら、国際的な観点から、積立基準を巡る議論を総括する。そして第 4 に、積立

基準をできるだけ反景気循環的なものとする観点から、特に掛金算定上の予定利率の設定のあり方について検討する。これには、最終フォワードレート（UFR）を固定する、予定利率にリスク資産の期待超過収益率を一部勘案するなど、幾つかのアプローチが考えられる。本講演では、我が国においては掛金算定に当たり予定利率にリスク資産の期待超過収益率を勘案する取扱いが一般的となっているなかで、リスクを基本として期待超過収益率を勘案する具体的な枠組みとして、支払年度別積立基準の考え方を提案するとともに、予定利率設定の具体的な方法論を検討する。

2. 参加申し込み

期日：3月18日（月）

学会サイトの【専用申込フォーム】よりお願い申し上げます。

<http://www.jarip.org/>

3. 参加費

研究会の参加費は無料ですが、資料代などの実費をカバーするため、会場にて 1,000 円程度のカンパをお願いしております。趣旨ご高配の上、ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。またカンパの趣旨から領収書の発行は行っておりません、ご了承いただきたくお願い申し上げます。

以 上

講師略歴：

清水信広（しみずのぶひろ）氏

厚生労働省年金局 主席年金数理官

1982年厚生省入省。人事院任用局試験専門官、ILO 社会保障局数理専門官、総理府社会保障制度審議会事務局年金数理調査官、厚生省年金局企業年金国民年金基金課課長補佐、厚生年金基金連合会企画事業部次長兼支払保証事業室長、GPIF 資金運用専門役兼運用部長、農業者年金基金数理・情報技術役などを経て、2012年7月より厚生労働省年金局首席年金数理官。

理学博士取得見込み（数学）、年金数理人、日本アクチュアリー会正会員、証券アナリスト協会検定会員。

[会場] 東京海上日動ビル 新館 15階・大会議室

参加者の皆様は、ビルに入館しましたら、そのままエレベーターで15階まで上って下さい。15階のエレベーターホールのところ案内板があります。

